



bamboo バンブー 12月号

「忍耐力」と「柔軟さ」 「内面的な強さ」と「急速な進化」

【充実、そして新しい出発の師走に】

生徒の皆さんは、例年ですと「ああ、今年もう終わりか」と感慨にふけるところでしょうが、今年はひと味違いますね。そうです。進路決定に大きく影響していく受験があるのです。それが目の前に来ているのです。特に、私立高校第1回入試の受験を単願とする人は、これで合格すればその高校に決定となります。そのあとは、入学に備えての毎日となるのです。入試がすべてではありません。合格がすべてでもありません。目標はその先の将来にあります。入試や入学は夢をかなえるための1ステップなのです。夢や目標なしで入試を受けても気合が入りませんよね。合格の強い味方はあなたの心の中にある強い意志、大きな夢なのです。今回の私立高校第1回入試を単願で受験する生徒は、現段階で誰よりも夢への登竜門が間近に迫っていると言えます。自分の将来を考え、ここで学習するというその気持ち、それが強くなったからこそ、決意したわけです。入試まであとわずかです。ベストを尽くしましょう。また、併願で私立高校第1回入試を受ける生徒も、「どうにかなる」という気持ちではなく、受けるからには、徹底的に学習し、その学校に絶対受かってみせるんだという気持ちで臨みましょう。



【私立高校第1回入試にむけて】

第1回進路相談（三者懇談）が終わり、多くの皆さんが私立高校第1回入試合格にむけて、日々がんばっていることと思います。これから、入試という初めての挑戦をするわけです。学校の実力テストや塾での模擬テストとは違い、高校によっては1万人以上の受験者になることでしょう。これでは少し緊張するのも無理はないですね。この私立高校第1回入試から受験がスタートするわけです。そこで、過去の私立高校第1回入試を終えたばかりの先輩たちの感想を紹介するので参考にしてみてください。～入試直前の今、あらためて読んでみてください～

《先輩の感想》

- 文星の入試だった。数学があと少しというところで時間が足らず終わってしまった。県立入試では絶対にこういう失敗はしたくない。
- 文星の入試だった。国語が難しかった。どっちなかと、ぎりぎりまで迷った問題もあった。でも、時間いっぱい見直しをして、書きまくったので、出来はまあまあだと思う。
- 今日、私立の入試を受けた。受験番号や名前を書いたかどうか不安である。次は絶対に受験番号と名前だけは最初にかき書こうと心にかたく誓った。
- 今日、初めて入試を経験した。他の学校の生徒もいたが、緊張はしなかった。心の中で「だいじょうぶ。絶対受かる。」と何度も言い聞かせてがんばった。
- 今日は作新の試験でした。どこにこんなに人がいるのだろうというくらい、たくさんの受験生であふれてました。バスもいっぱいきていました。それがいちばん驚いたことでした。
- 宇短附の入試でした。英語の長文がとて多く、そしてわからない単語などがあり、とても難しかったです。作新の入試はがんばりたいと思います。
- 宇短附の入試でした。とにかく時間がなく、問題が解き終わりませんでした。いちばん後悔しているのは、国語のマークシートを一部白紙で出してしまったことです。とにかく頑張って全部うめるべきでした。だってマークシートだから書いておけば当たるかもしれないのに。
- 今日は初めての受験を経験した。国語が終わった後、友達と答え合わせをした。すると友達とぜんぜん違う答えだった。そのことが頭から離れなくて、数学のテストに集中できなかった。県立のときは休み時間の答え合わせはやめようと思った。
- とにかく、①受験番号、名前を最初にかき、②問題をよく読み、問題に対して適切に答える、③10分前に終わり、見直しを2回以上やる、④白紙の欄を残さず、すべて埋め、可能性の残る答案を作る、を心掛けた。
- 宇短附でも、作新でも予想通りの問題が出たので楽勝だった。ちなみに数学は関数がばっちり出て、2、3日前にやった問題とほぼ同じだったので逆にあせった。
- 昨日は緊張してあまりよく眠れなかったが、気合でのりきった。

どうですか、先輩の感想。みなさんの予想していることと、あまりかわらないでしょうか。誰もが緊張するのです。自分だけではありません。しっかりと準備をし、細心の注意を払った上で、楽しむ気持ちで受験に臨みましょう。

《注意》合格しても、期限までに手続きをしないと合格が無効になってしまいますので、注意してください。よく書類（合格通知書および入試要項）を確認してください。

【「できた」と考えると思考力が落ちる】

自己報酬神経群は、ごほうびへの期待をモチベーションにします。これは逆にいうと、「できた、終わった」と思った瞬間に、脳がモチベーションを失うことを意味しています。まだ終わってもいないのに、「できた！」と思ってしまうと、自己報酬神経群が「もうこのことは考えなくてもよい」と判断するのです。仕事や勉強をしていて、まだ完全には終わっていないのに、「だいたいできた」と考えることはありませんか？これは、脳に「とまれ！」と言っているようなもの。仕事が「あと少しで完成するな」と思ってほっとすると、途端に能率が下がる。会議が終わるところになると、メンバーの集中力がとぎれてくる……。

「だいたいできた」ということは「まだできていない」はずですが、脳は「だいたいできた」という“否定語”によって思考することをやめてしまいます。自己報酬神経群の働きをうまく活用するには、物事をもう少しで達成できるというときにこそ、「ここからが本番だ」と考えることが大切です。物事を達成する人と達成しない人の脳を分けるのは、「まだできていない部分」「完成するまでに残された工程」を認識し、そこにこだわるかどうかです。たとえば、試験を終えた子どもに「どうだった？」と尋ねたとき、「だいたいできたよ」と答える子どもは、あまり成績が伸びません。「ここがダメだった」と具体的に言え、そのできなかった部分にこだわってこそ、勉強ができるようになるのです。

上の内容は、運動でも同じことが言えますね。「もう勝った」と思った瞬間、負けに転じてしまった経験が、私にもたくさんあります。どうやら、「できた」「勝った」「終わった」と思った瞬間に、脳の血流が減少するそうです。

【お知らせ】

○実力テスト(第7回) 12/2(火)

5教科記述式の実力テストです。県立受検高校の最終決定の参考にします。(1/9～第2回進路相談)

○私立高校第1回目入試事前指導について

12/24(水)に、私立高校受験の諸注意について集会を行い、持ち物や心構え、体調不良時の対応などについて説明したいと思います。 ※受験に関して何かご質問等があれば、いつでも担任にお尋ねください。

○県立高校特色選抜について

先日、特色選抜の概要について、生徒の皆さんに周知しました。大まかな流れについては、以下の通りとなります。

11/21(金)～11/28(金)まで 特色選抜受検希望者受付	12/19(金) 県立特色受検者説明会
12/1(月) 希望者対象説明会、手続き書類の説明・配布	1/9(金) 願書(清書)、志願理由書(清書)、他 〆切
12/8(月) 手続依頼書・願書(下書き)・志願理由書(下書き) 〆切	1/29(木) 出願

○学校集金徴収日について

口座振替日は、毎月 10日 です。御準備、よろしくお願いいたします。

【12月・1月の行事予定】

12/2(火) 第7回実力テスト	12/26(金)～1/7(水) 冬季休業
12/4(木) B6	1/8(木) 第8回実力テスト
12/5(金) B6	1/9(金)～1/19(月) 第2回進路相談 B6
12/8(月) 小中一貫全体研修会 A5 12456	1/16(金) 小6中学校訪問 B5 12346
12/9(火) 登校指導	1/20(火) 生徒朝会 A5 水 12345
12/10(水) 学習内容定着度調査	1/21(水) B6 火 123456
12/11(木) 旅行業者選定委員会 B6	1/22(木) 生徒会専門委員会 B6
12/12(金) 新入生保護者説明会	1/23(金) B6
12/15(月) 生徒会専門委員会 B6	1/28(水) 学年朝会
12/16(火) 学校保健給食委員会 B6	1/29(木) 県立高校特色出願①
12/17(水) 学校朝会	1/30(金) 県立高校特色出願② B6
12/18(木) お弁当の日	
12/19(金) 2年保護者会 B6	
12/24(水) 第1回私立高校入試事前指導	
12/25(木) 学年朝会	
12/25(木) 冬季休業前集会 A5 1256集	



バンブーのつぶやき



『子供のころになりたかったもの』

小学校の文集なんかで、「大きくなったら何になりたいか」を書かされました。宇宙飛行士になります。発明家になってノーベル賞をとりたいです。いろんな夢を書いたはずですが、それが学校を卒業するころになると「ナニナニ商事に入って部長くらいになりたいです」など現実的な夢になってしまいます。でも本当は、「経験を積む、学習する、友達が増える」ので、夢は大きくなるはずなのです。最悪なのは、かつて自分がそんな夢をもっていたということすら忘れてしまっているということです。

自分の「可能性」はどうでしょうか。自分の将来についてはどうでしょうか。進路の学習を通して目標が定まり、それに向かって努力を続けるはずですが、しかし、実際にはあきらめてしまう人が多いのではないのでしょうか。夢がいつ実現するかは分かりませんが、それらに向かって努力し続けることは大切だと思います。自分に限界を作らず、あきらめず、もう一度「Yes、I can(わたしはできる)」と心のなかで叫んでみてください。